

「朝日ジャーナル」十月 そこに福田越夫「歴史の教の一環として受けとめられ

四日号は、「軍事大国への 訓に学ぶ平和大国への道」 ていた。ところが、今回の

岐路 一%粹突破の新防衛 という論文が並んでいるの 福田論文は、「日本は再び

計画」という を読んだ者は、いささか驚 戦前の道は歩いてはならな

巻頭特集を組 いたに違いない。 もと来た道は邪道だ。

巻頭特集を組 もとより、福田元首相が 戦後の日本に与えられた世

根氏の危険な 曾 界的使命をふまえて、世界

根氏の危険な 曾 平和のために貢献すること

批判してい を 二木武夫らとともに、自民 界的使命をふまえて、世界

批判してい を 二木武夫らとともに、自民 界的使命をふまえて、世界

これだけの 党の長老として、GNP一 平和のために貢献すること

ことなら、いかにも「朝日 %粹問題で慎重論を提起し こそ我々が求めなければな

ジャーナル」らしいと思っ ていることは、新聞の政治 らない道だ」と実に堂々た

だけで、とりたてて注目す 欄で先刻から報じられてい る平和論になっている。

べき事柄でもないのだが、 たが、一般にはそれも政争 このような福田の最近の

### 福田元首相の変身

大波小波

(風見鶏)